

**株式会社F & Aアクアホールディングス**  
**(東証一部 8008)**

**第63期(2013年2月期)決算説明会**

**2013年4月15日**



**F&A AQUA holdings, inc.**

# Contents

## I. 2013年2月期決算概要と総括

## II. 2014年2月期重点取り組み課題と施策

## III. 第3次中期経営計画の進捗

(株)F & Aアクアホールディングス 代表取締役会長 木村祭氏

※資料内の数値は百万円未満を切り捨て表示し、百分率は原データから算出しております。

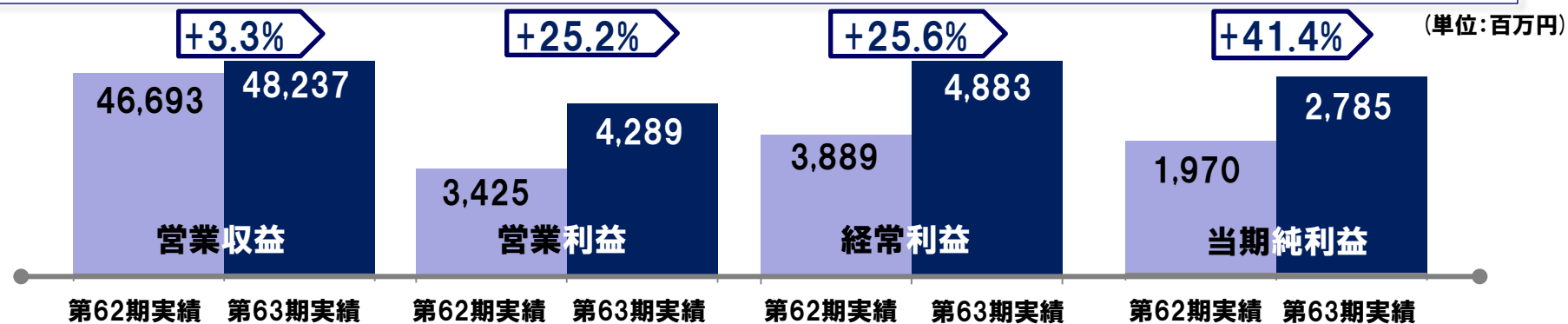
当資料の業績予想に関する記述、及び客観的事実以外の記述に関しましては、当社が現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの記述のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、当社の事業をとりまく経済情勢、市場の動向、為替レートなどに関わる様々な要因により、記述されている業績予想とは大幅に異なる可能性があることをご了承ください。

# 連結業績の概要

**増収となり、営業利益・経常利益・当期純利益は過去最高益を更新**

営業収益 482.4億円(前期比3.3%増) 営業利益 42.9億円(同25.2%増)

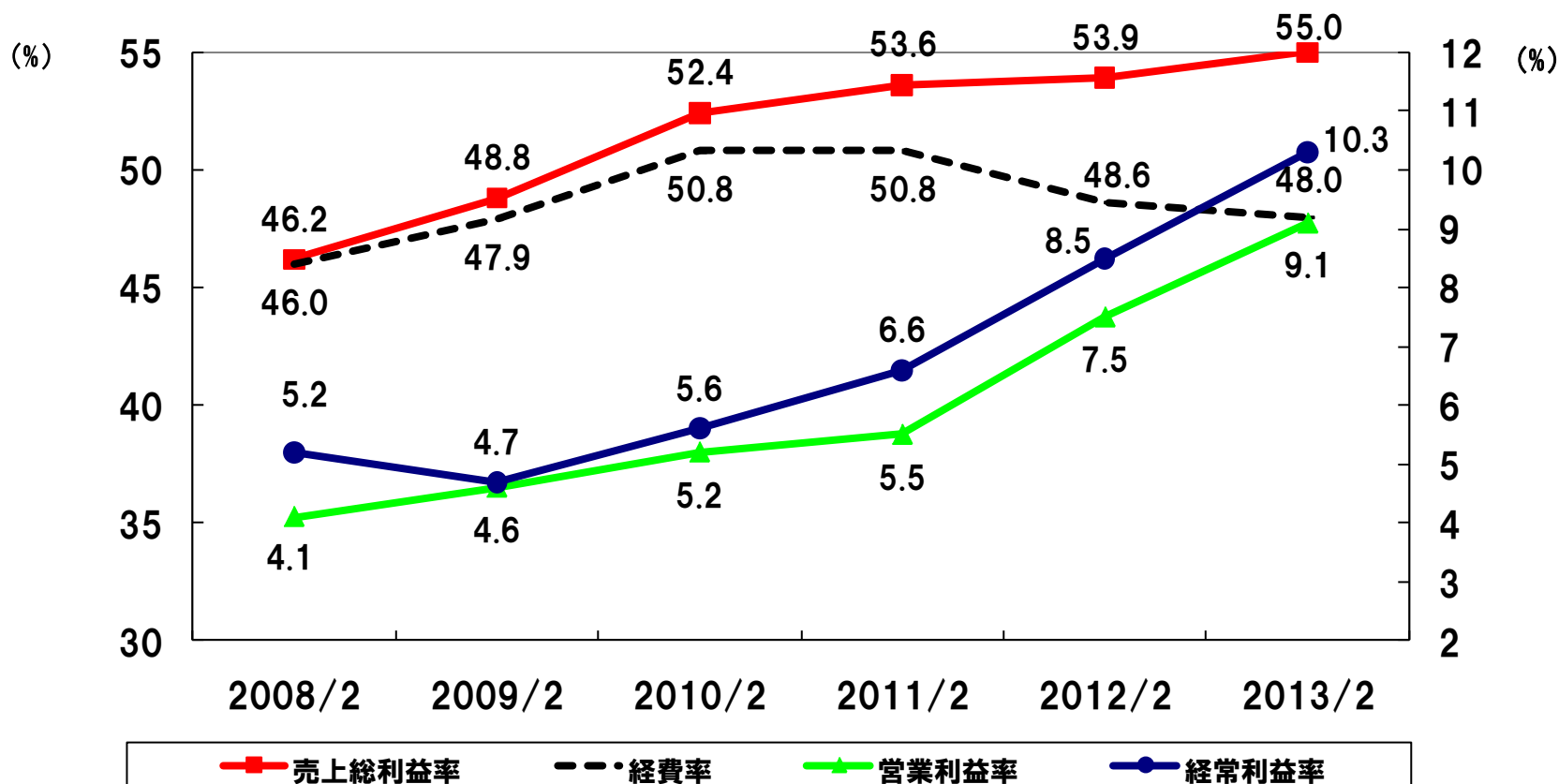
経常利益 48.8億円(同25.6%増) 当期純利益 27.9億円(同41.4%増)



(百万円、%)	第62期(2012/2)		第63期(2013/2)		第63期(2013/2)		前期比 増減(%)	計画比 増減(%)
	実績	(%)	計画	(%)	実績	(%)		
営業収益	46,693		48,000		48,237		+3.3	+0.5
売上高	45,690	100.0	47,052	100.0	47,264	100.0	+3.4	+0.5
売上総利益	24,618	53.9	25,953	55.2	25,990	55.0	+5.6	+0.1
売上総利益率	53.9		55.2		55.0		+1.1pt	△0.2pt
販売管理費	22,196	48.6	22,701	48.2	22,673	48.0	△0.6	△0.2
営業利益	3,425	7.5	4,200	8.9	4,289	9.1	+25.2	+2.1
経常利益	3,889	8.5	4,700	10.0	4,883	10.3	+25.6	+3.9
当期純利益	1,970	4.3	2,500	5.3	2,785	5.9	+41.4	+11.4

# 利益率の改善

収益構造が改善、損益分岐点が低下。経常利益率は前倒して中計目標を達成。



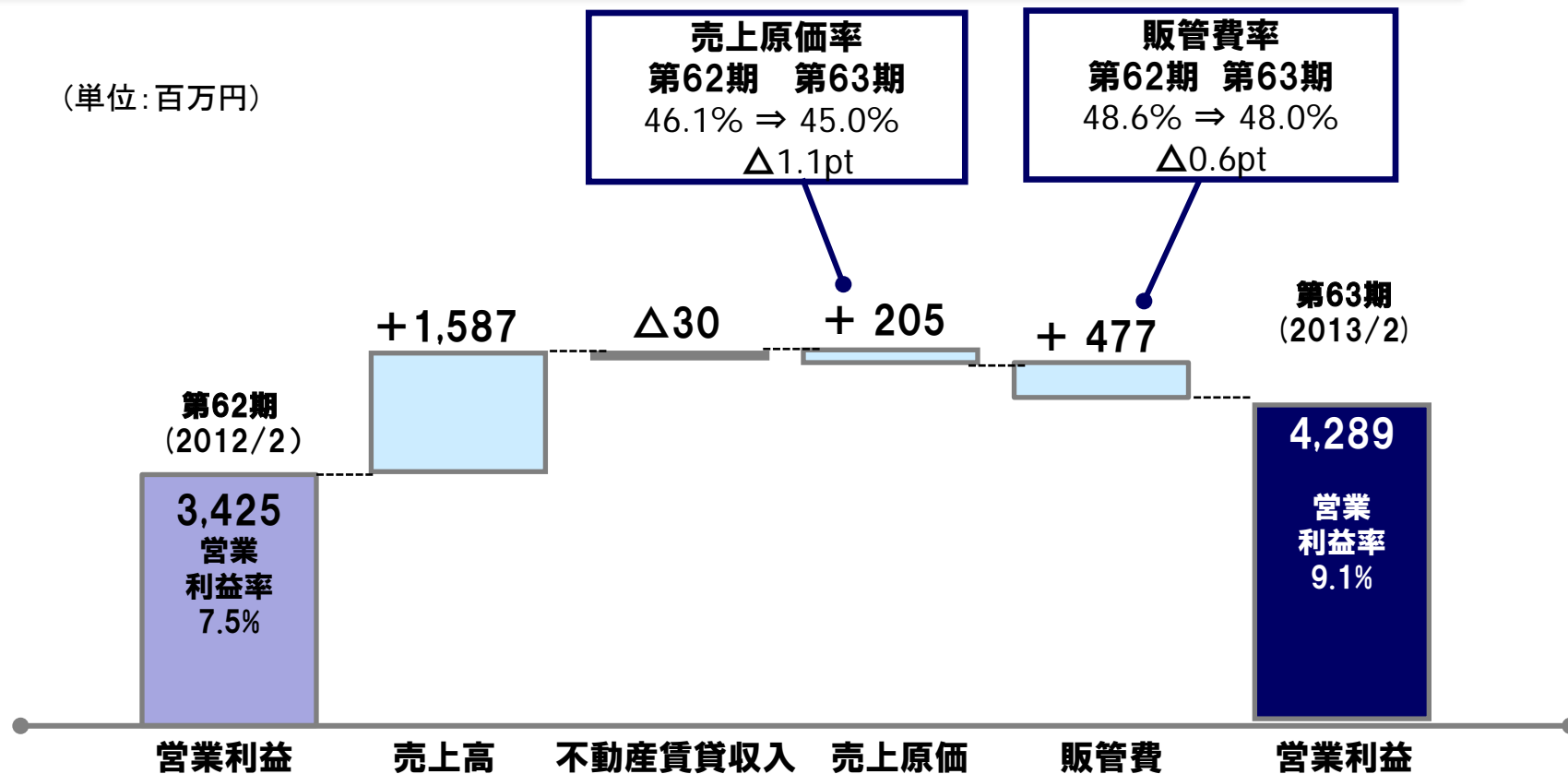
(分母は全て商品売上高)

# 営業利益の増加要因

## 営業利益 前期比8.6億円増加

- 売上高の増加
- 売上高増加により原価率と販管費率が低減

(単位:百万円)



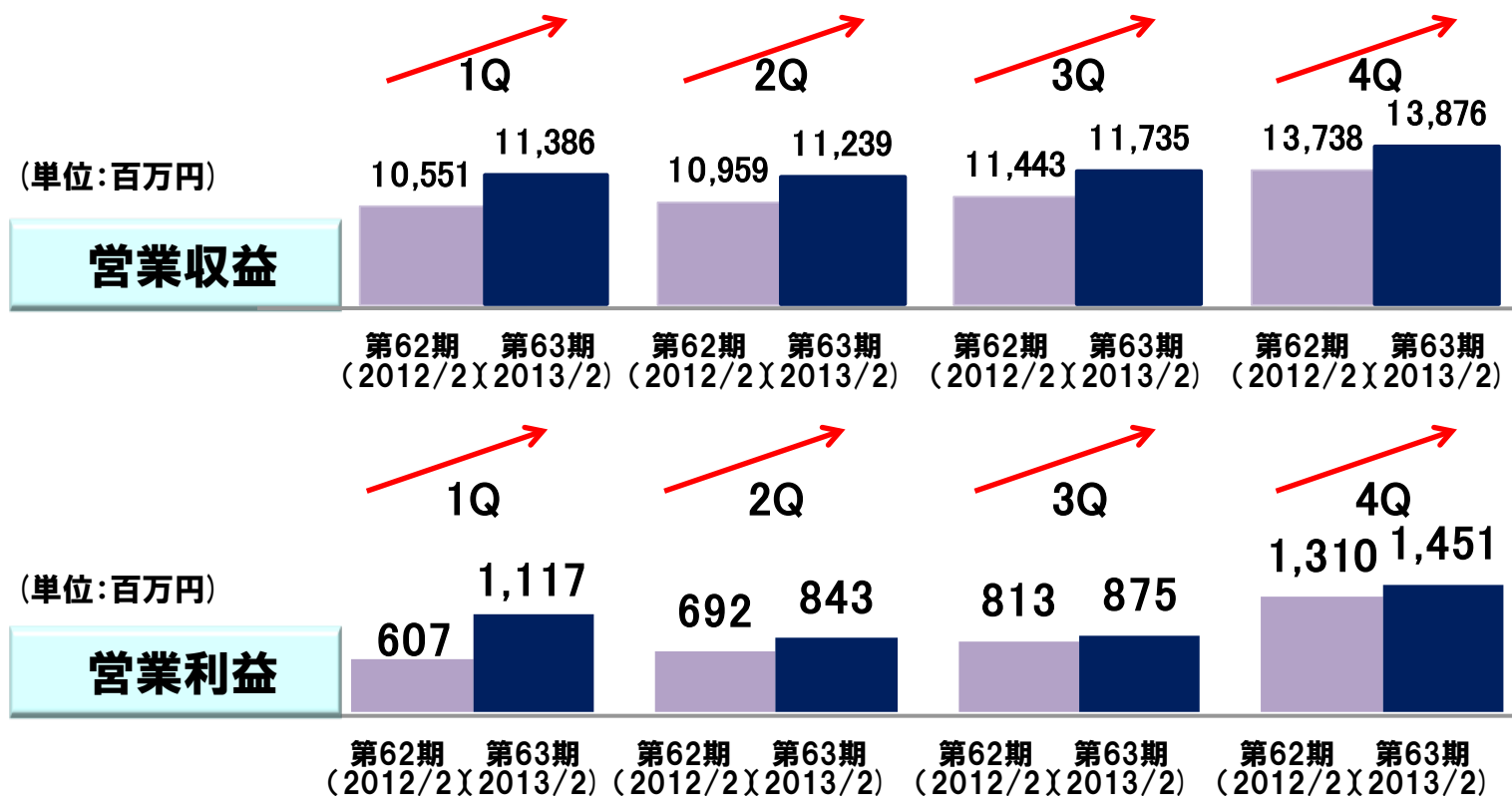
# 営業利益・経常利益・当期純利益の過去最高更新

(単位:百万円)

段階利益	第62期 (2012/2)	第63期 1Q期間	第63期 2Q期間	第63期 3Q期間	第63期 4Q期間	第63期 累計 (2013/2)	前年差
営業収益	46,693	11,386	11,239	11,735	13,876	48,237	1,543
売上総利益	24,618	6,073	5,872	6,286	7,758	25,990	1,371
営業利益	3,425	1,117	843	875	1,451	4,289	864
営業外収益	516	258	98	58	220	636	119
営業外費用	51	13	8	5	13	41	△10
経常利益	3,889	1,363	933	928	1,658	4,883	994
特別利益	124	—	14	78	5	97	△27
特別損失	470	253	108	181	△118	425	△45
税金等調整前当期(四半期) 純利益	3,543	1,109	838	825	1,781	4,555	1,012
当期(四半期)純利益	1,970	667	380	416	1,320	2,785	815

# 四半期業績の推移

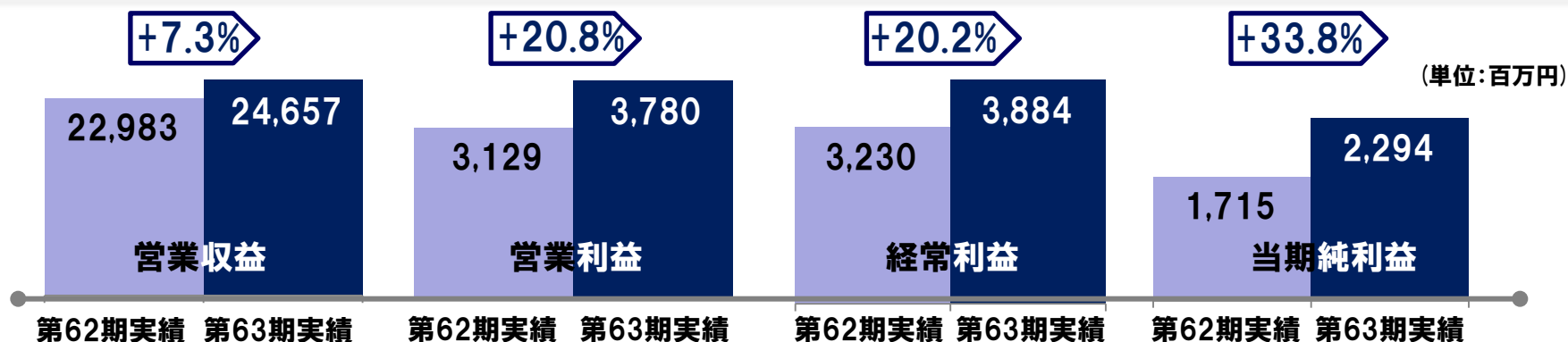
2012年2月期第2四半期から7四半期連続で、増収増益を達成



# セグメント別の概要

## ◆ FDCプロダクツグループ

- 増収大幅増益、全ての利益で過去最高を更新
- 4°Cジュエリー既存店が2012年4月に投入した「4°C Pregence」の効果で活性化
- 「4°C BRIDAL」、「canal4°C」も新規出店に加え、既存店も好調に推移



(百万円、%)	第62期 (2012/2)		第63期 (2013/2)				前期比 増減(%)	計画比 増減(%)
	実績	(%)	計画	(%)	実績	(%)		
営業収益	22,983	100.0	24,216	100.0	24,657	100.0	+7.3	+1.8
営業利益	3,129	13.6	3,639	15.0	3,780	15.3	+20.8	+3.9
経常利益	3,230	14.0	3,752	15.5	3,884	15.8	+20.2	+3.5
当期純利益	1,715	7.5	2,262	9.3	2,294	9.3	+33.8	+1.4

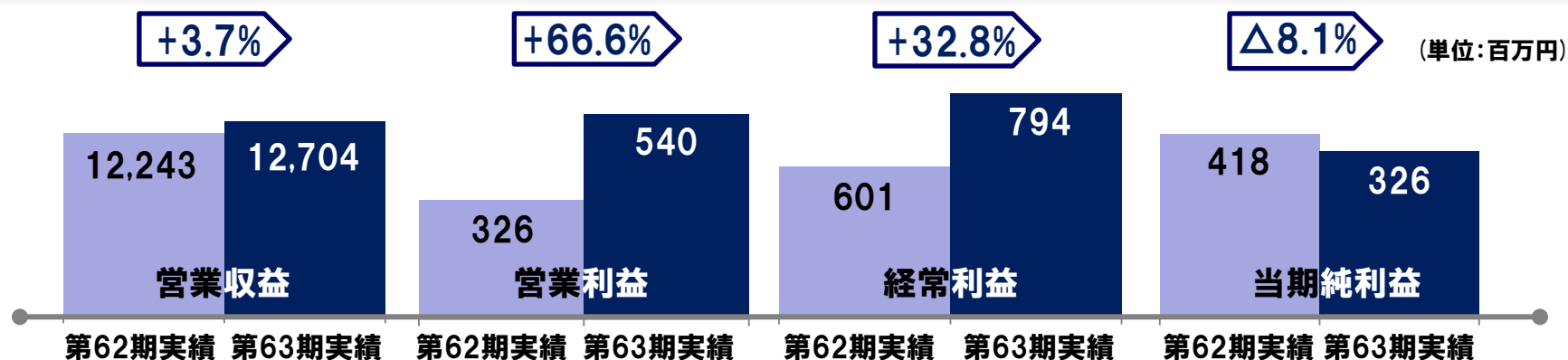
(※内部相殺前数値)



# セグメント別の概要

## ◆ アスティグループ

- アスティ単体で増収大幅増益。アスティグループでは、(株)吉武の厚生年金基金脱退による特別損失(1億8,000万円)の計上で当期純利益は減益
- アパレルメーカー事業はODMを中心に主力取引先に加え、新規取引先の開拓が順調

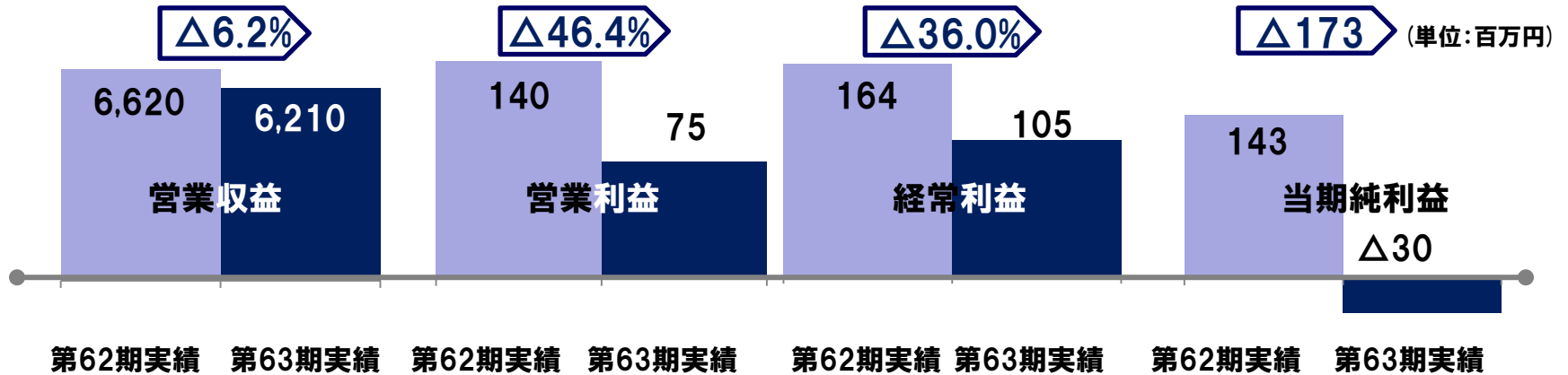


(百万円、%)	第62期 (2012/2)		第63期 (2013/2)				前期比 増減(%)	計画比 増減(%)
	実績	(%)	計画	(%)	実績	(%)		
営業収益	12,243	100.0	12,541	100.0	12,704	100.0	+3.7	+1.3
営業利益	326	2.7	597	4.8	540	4.3	+66.6	△9.1
経常利益	601	4.9	814	6.5	794	6.3	+32.8	△2.5
当期純利益	418	3.4	163	1.3	326	3.0	△8.1	+100.0

# セグメント別の概要

## ◆ (株)三鈴

- セール時期の対応不足や天候不順の影響等により全般に苦戦し、減収減益
- 対策を講じた結果、第4四半期は回復基調で推移

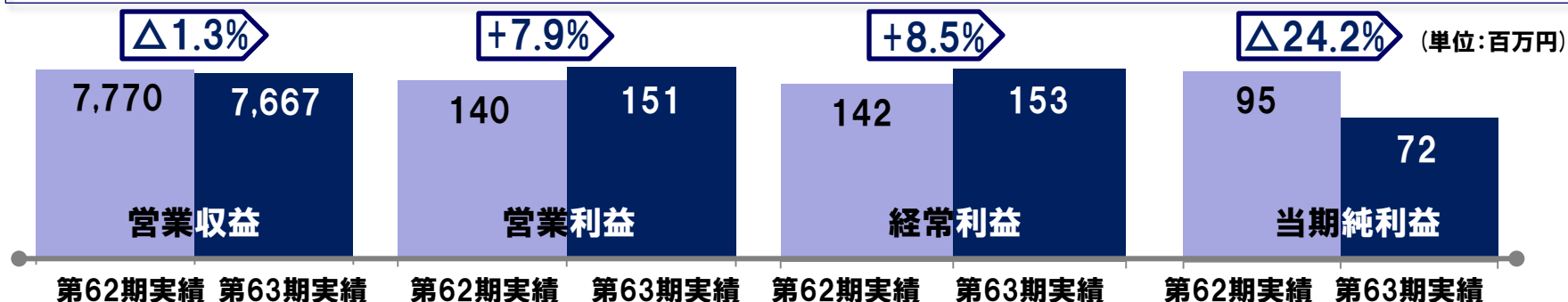


(百万円、%)	第62期 (2012/2)		第63期 (2013/2)				前期比・差 増減(%)	計画比・差 増減(%)
	実績	(%)	計画	(%)	実績	(%)		
営業収益	6,620	100.0	6,300	100.0	6,211	100.0	△6.2	△1.4
営業利益	140	2.1	140	2.2	75	1.2	△46.4	△45.9
経常利益	164	2.5	164	2.6	105	1.7	△36.0	△36.0
当期純利益 (損失)	143	2.1	63	1.0	△30	—	△173百万円	△93百万円

# セグメント別の概要

## ◆ (株)アーヂュ

- コア事業「パレット」は、関西に5店舗出店。既存店売上も前期を上回り好調
- 「LOU」「ラポール」が苦戦し売上高は微減、荒利益率改善により営業利益、経常利益は増益



(百万円、%)	第62期(2012/2)		第63期(2013/2)				前期比・差 増減(%)	計画比・差 増減(%)
	実績	(%)	計画	(%)	実績	(%)		
営業収益	7,770	100.0	7,795	100.0	7,667	100.0	△1.3	△1.6
営業利益	140	1.8	172	2.2	151	2.0	7.9	△12.1
経常利益	142	1.8	175	2.2	153	2.0	8.5	△12.1
当期純利益	95	1.2	100	1.3	72	0.9	△24.2	△27.4

# 財政状態、キャッシュ・フローの状況(連結)

総資産533億円、負債122億円。預貯金超過が継続  
たな卸資産の増加等で営業CF6億9,100万円減少  
フリーCF14億9,000万円減少

## 財務状況

2013年2月末時点

## キャッシュ・フロー

総資産 533億円	122億円	負債
	411億円	純資産

(単位:百万円)	第62期 (2012/2)	第63期 (2013/2)	差額
営業CF	4,059	3,368	△691
投資CF	△432	△1,230	△797
財務CF	△2,841	△1,322	1,519
フリーCF	3,628	2,137	△1,490

# 設備投資・減価償却費の概要(連結)

**設備投資額 : 1,144百万円 減価償却費 : 865百万円**

(百万円、%)	第62期 (2012/2) 実績	第63期 (2013/2) 実績	前期差
<b>設備投資額</b> (長期前払費用含む) (CFベース)	725	1,070	+345
<b>敷金・保証金</b>	△145	74	+219
<b>合計</b>	580	1,144	+564

(百万円、%)	第62期 (2012/2) 実績	第63期 (2013/2) 実績	前期差
<b>減価償却費</b>	836	865	+29

## ◆ 期初計画を1年前倒しで達成:

第3次中期経営計画の2014年2月期の計画を上回る業績を達成

**営業利益、経常利益、当期純利益とも過去最高益を達成**

### 1. FDCプロダクツグループ

⇒ 「4°C Pregence」の売上が計画を上回る。  
「4°C BRIDAL」「canal4°C」が好調に推移し、業績を牽引  
2012年10月、郊外型新ブランド「MAISON JEWELL」を出店

### 2. アスティグループ

⇒ ODMを中心としたアパレルメーカー事業の売上が拡大

### 3. (株)三鈴

⇒ 減収減益も第4四半期は増収に転換

### 4. (株)アージュ

⇒ 主力のパレットが好調

## 成長エンジン6本柱のうち、アパレルSPA事業を除く事業が順調に進展

### 成長エンジン6本柱の進捗

(単位:百万円)	売上高	前期比(%)	経常利益	前期比(%)
4°Cジュエリー合計	18,901	+6.8	3,320	+16.1
[4°Cジュエリー]	15,321	+0.9	2,691	+8.2
[4°CBRIDAL]	3,579	+42.9	629	+67.9
canal4°C	2,311	+25.5	298	+31.2
アパレルメーカー事業	4,607	+23.5	254	+50.6
アパレルSPA事業	6,210	△6.2	105	△36.2
デイリーファッション事業	5,900	+5.3	161	+53.8
合計	37,932	+6.9	4,139	+17.4

## 業績牽引ブランドの出店と業績が着実に進展

### 業績牽引ブランドの進捗

	第63期 (2013/2) 店舗数	店舗数 前期比 (vs 第62期)	第63期 (2013/2) 売上高	売上高 前期比 (vs 第62期)	第63期 (2013/2) 経常利益	経常利益 前期比 (vs 第62期)
	23店舗	+7店舗	36億円	+11億円	6.3億円	+2.5億円
	24店舗	+3店舗	23億円	+5億円	3.0億円	+0.7億円
<b>合計</b>	<b>47店舗</b>	<b>+10店舗</b>	<b>59億円</b>	<b>+15億円</b>	<b>9.3億円</b>	<b>+3.3億円</b>



# 2014年2月期業績予想

## 増収増益、営業利益、経常利益、当期純利益とも過去最高益更新の計画

営業収益500億円（前期比3.7%増）

営業利益47.5億円（前期比10.7%増）

経常利益54億円（前期比10.6%増）

当期純利益30.5億円（前期比9.5%増）

(百万円、%)	第63期(2013/2)		第64期(2014/2)		前期比 増減(%)
	実績	(%)	計画	(%)	
営業収益	48,237		50,000		+3.7
売上高	47,264	100.0	49,114	100.0	+3.9
売上総利益	25,990	55.0	27,410	55.8	+5.5
売上総利益率	55.0		55.8		+0.8pt
販売管理費	22,673	48.0	23,546	47.9	+3.9
営業利益	4,289	9.1	4,750	9.7	+10.7
経常利益	4,883	10.3	5,400	10.6	+10.6
当期純利益	2,785	5.9	3,050	6.2	+9.5

# 事業会社グループ別通期業績予想(内部相殺前数値)

(百万円、%)		第63期 (2013/2)	第64期(2014/2)	
		実績	予想	前期比・差
FDCプロダクツ グループ	営業収益	24,657	25,570	+3.7
	営業利益	3,780	4,073	+7.8
	経常利益	3,884	4,187	+7.8
	当期純利益	2,294	2,423	+5.6
アスティグループ	営業収益	12,704	12,083	△4.9
	営業利益	540	684	+26.7
	経常利益	794	880	+10.8
	当期純利益	326	544	+66.9
(株)三鈴	営業収益	6,211	6,450	+3.9
	営業利益	75	106	+41.3
	経常利益	105	140	+33.3
	当期純利益(損失)	△30	93	123百万円
(株)アージュ	営業収益	7,667	8,454	+10.3
	営業利益	151	195	+29.1
	経常利益	153	195	+26.6
	当期純利益	72	100	+38.9

(営業収益には不動産賃貸収入・経営指導料含む。)

# 出退店の状況と計画

## 計画通りの出店を実施

		FDCプロダクツグループ							(株)三鈴	(株)アージュ	合計
		国内ジュエリー					海外 ジュエ リー	4℃ バッグ			
		4℃	4℃ BRIDAL	canal 4℃	その他	計					
第62期 (2012/2)	期末	94	16	21	20	151	4	27	89	76	347
第63期 (2013/2)	出店	0	7	5	3	15	3	1	10	5	34
	退店	1	0	2	3	6	3	0	10	3	22
	期末	93	23	24	20	160	4	28	89	78	359
第64期 (2014/2) 計画	出店	0	8	6	6	20	3	1	12	5	41
	退店	2	0	0	2	4	0	0	7	0	11
	期末	91	31	30	24	176	7	29	94	83	389

その他：EAUDOUCE4℃、RUGIADA、MAISON JEWELL、JOAQUIN BERAO他

# 1株当たり年間配当金・自己株式買入額の推移

2013年2月期は特別配当を含め22円に増配

2014年2月期は25円に増配を予想

機動的な自己株買いを実施（2013年2月期は2回実施）

	第62期 (2012/2)	第63期 (2013/2)	第64期 (2014/2) 予想
1株当たり年間配当金(円)	21	22	25
自己株式買入額(百万円)	437	285	—
総配分性向(%)	52.7	32.7	—
1株当たり当期純利益(円)	71.27	101.64	111.29

⇒ 配当と自己株式の取得を含めた株主還元を図り、  
総配分性向25%を基本とする

- I. 2013年2月期決算概要と総括
- II. 2014年2月期重点取り組み課題と施策**
- III. 第3次中期経営計画の進捗

# 2014年2月期重点施策～FDCプロダクツグループ～

## ◆ 「4℃」ブランドの価値向上と新たなマーケットへの挑戦

- 「4℃BRIDAL」「canal4℃」の着実な出店と集客拡大
- 継続的な広告・販促投資による「4℃」ブランド価値の向上
- 「MAISON JEWELL」の客層、商品構成の分析による基盤づくり



2013年3月にオープンした  
canal4℃ららぽーと柏の葉店



2012年8月にオープンした  
4℃BRIDAL京都店

2012年11月に第2号店  
としてオープンした  
MAISON JEWELL  
イオンモール水戸内原店



# 2014年2月期重点施策～FDCプロダクツグループ～

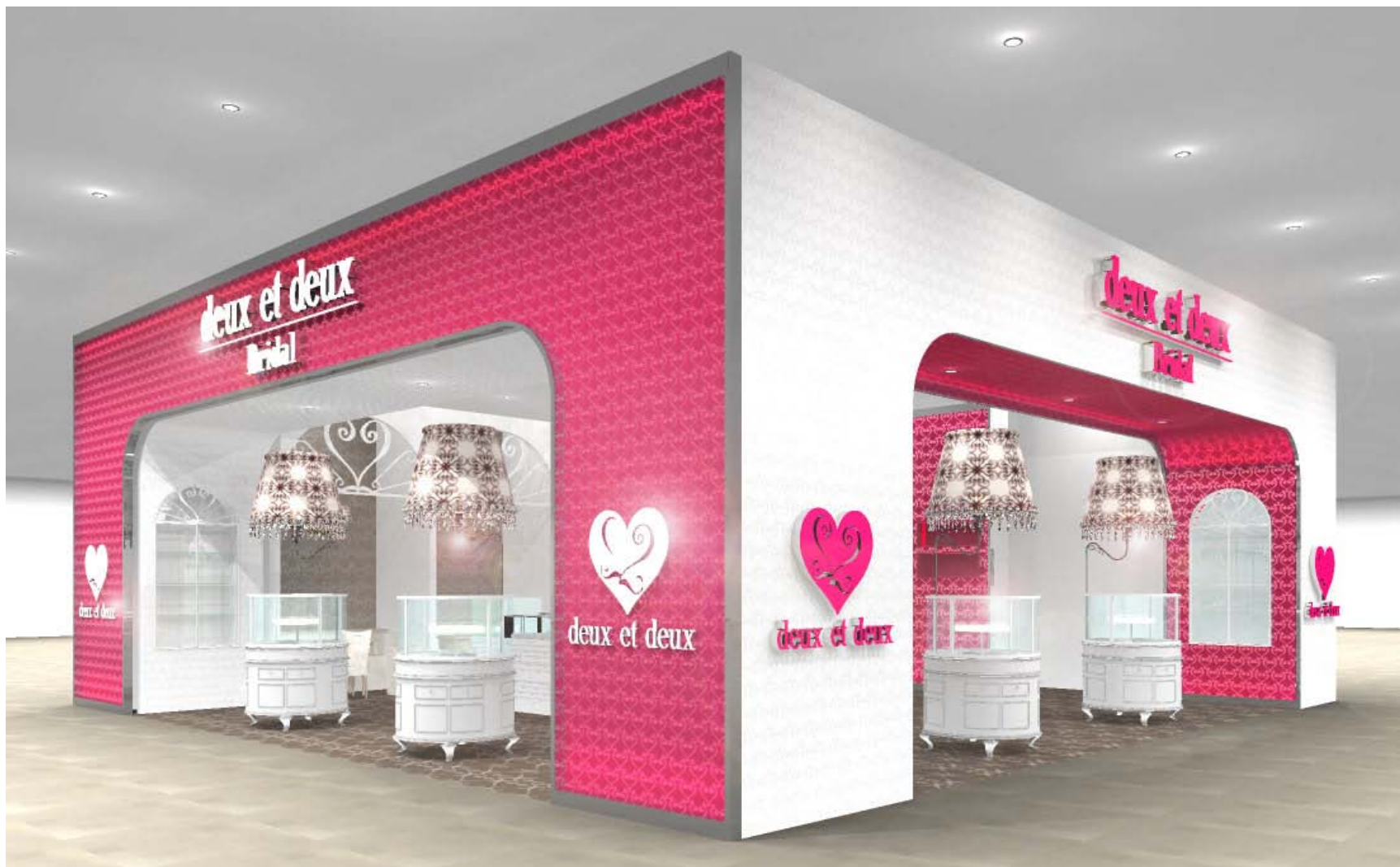
## ◆ 新ブランド

- ブライダル専門店  
「deux et deux」(ドゥ エ ドゥ)
- 下期3店舗出店予定、初年度売上高1億円



# 2014年2月期重点施策～FDCプロダクツグループ～

## ◆ 新ブランド





# 2014年2月期重点施策～FDCプロダクツグループ～

## ジュエリーブランドのチャネル戦略をさらに強化

	特長	主な 販売チャネル	2014年 2月期 1店舗当たり 売上高(計画)	2014年2月期の 出店計画数
	国内ジュエリー ブランドNo. 1	百貨店	1.5億円	—
	ブライダル専門店	路面店	1.5億円	8店舗
	リーズナブルな 価格の普段使いで きるジュエリー	都市型SC	1億円	6店舗
	親から子、子から 孫へと受け継がれ るボンジュエリー	郊外型SC	0.7億円	2店舗
	地方都市型 ブライダル専門店	地方都市	0.8億円	3店舗

## ◆ 高収益化と安定成長化

- 大手アパレルやGMS、専門量販店などの既存取引先との安定的な関係維持、新規取引先の開拓・創造
- 企画・素材提案力向上と新しいマーケットの開拓によるODMのアパレルメーカー事業を一層拡大



デザインや素材、生産背景まで提案するODMを積極的に推進



ベトナム・ハイフンの自社工場  
従業員400名。年間12万本の  
バッグを生産

## ◆ アパレルSPA事業を収益の柱に育成

- 前期の第4四半期は前年同期をクリア。足元の業績改善基調を維持
- 先物計画の拡充によるSPA機能の強化
- ファッションショーへの参加やプロモーション活動を引き続き実施し、認知度を強化

「東京ランウェイ2013」に  
「Rew de Rew」(ルウ デ ルウ)が初出場

### 東京ランウェイとは？

1年に春夏 (SPRING/SUMMER) と、秋冬 (AUTUM/WINTER)  
の2回開催しているファッションショー  
日程: 2013年3月20日(水/祝)  
会場: 国立代々木競技場



## ◆ 収益性の高い小売業態の確立

- コア事業である総合衣料専門店「パレット」の関西ドミナント出店を継続
- レディースファッション専門店「LOU(ルウ)」と会員制小売事業「ラポール」の品揃え強化による売上の回復



関西地区への出店を加速している「パレット」  
(写真は西宮今津店)



パレット店舗の外観フォーマット  
(写真は加古川店)



品揃えの強化を進めている  
レディースカジュアル専門店の「LOU」

# 2014年2月期重点施策～6本柱の計画

## 成長エンジン6本柱が、全体を牽引

### 成長エンジン6本柱の計画

(単位:百万円)	2013年2月期実績		2014年2月期計画			
	売上高	経常利益	売上高	前期比(%)	経常利益	前期比(%)
4°Cジュエリー合計	18,901	3,320	20,141	+6.6	3,643	+9.7
[4°Cジュエリー]	15,321	2,691	14,920	△2.6	2,724	+1.2
[4°CBRIDAL]	3,579	629	5,221	+45.8	918	+46.0
canal4°C	2,311	298	2,703	+16.9	349	+16.9
アパレルメーカー事業	4,607	254	5,270	+14.4	291	+14.8
アパレルSPA事業	6,210	105	6,450	+3.9	140	+33.3
デイリーファッション事業	5,900	161	7,115	+20.6	170	+5.3
<b>合計</b>	<b>37,932</b>	<b>4,139</b>	<b>41,679</b>	<b>+9.9</b>	<b>4,594</b>	<b>+11.0</b>

# 2014年2月期重点施策～6本柱の計画

## 業績牽引ブランドの出店と業績が着実に進展

### 業績牽引ブランドの計画

	第61期 (2011/2)実績		第62期 (2012/2)実績		第63期 (2013/2)実績		第64期 (2014/2)計画	
	店舗数	経常利益	店舗数	経常利益	店舗数	経常利益	店舗数	経常利益
<i>4°C</i> BRIDAL	10	2.8	16	3.7	23	6.3	31	9.2
<i>canal 4°C</i>	15	1.1	21	2.3	24	3.0	30	3.5
<b>合 計</b>	<b>25</b>	<b>4.0</b>	<b>37</b>	<b>6.0</b>	<b>47</b>	<b>9.3</b>	<b>61</b>	<b>12.7</b>

## 子会社再編により効率化を推進

- (株)吉武山形工場売却…9月  
フラッグス(株)株式譲渡…2月
- (株)ホアキン・ベラオジャパン  
ラ シェール(株)を清算



**売上高は減少も経常利益は改善**

- I. 2013年2月期決算概要と総括
- II. 2014年2月期重点取り組み課題と施策
- III. 第3次中期経営計画の進捗**



# 第3次中期経営計画の進捗状況①

## 目標を上方修正

	当初目標	修正目標
<b>数値ビジョン</b> (2015年2月期)	連結売上高 520億円 経常利益高 52.5億円 経常利益率 10% ROE 7%	連結売上高 530億円 経常利益高 60億円 経常利益率 11.3% ROE 7.6%

## 当初計画数値と修正数値

	第63期 (2013/2)			第64期 (2014/2)		
	当初計画	修正値(実績)	差額	当初計画	修正値(予想)	差額
連結売上高(百万円)	47,500	48,237	+737	49,500	50,000	+500
経常利益高(百万円)	4,300	4,883	+583	4,750	5,400	+650
経常利益率(%)	9.1	10.1	1.0pt	9.6	10.8	+1.2pt
ROE(%)	5.7	7.0	+1.3pt	6.3	7.2	+0.9pt

# 第3次中期経営計画の進捗状況②

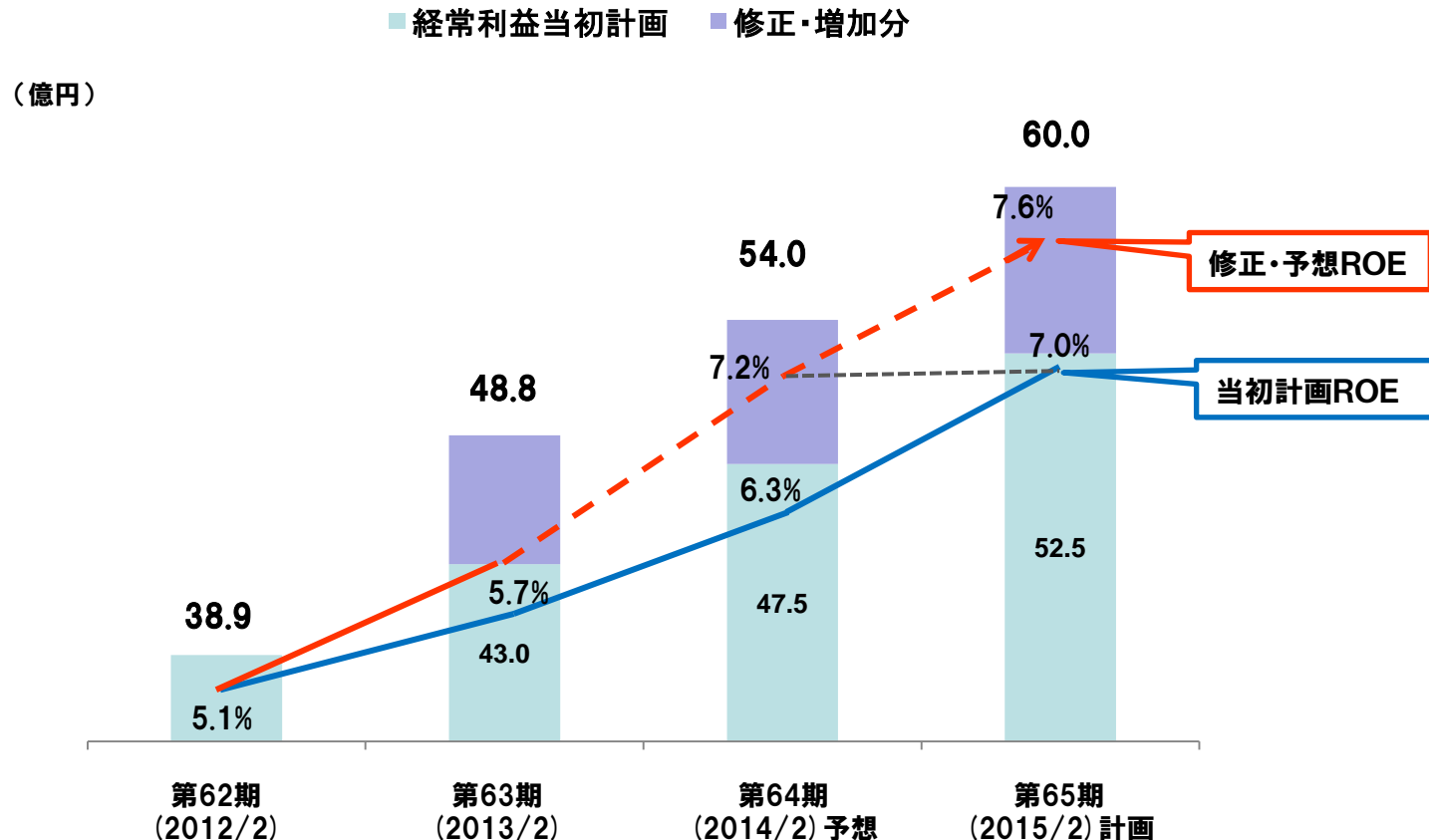
## 成長分野への積極投資、組織力強化とも着実に実施

	当初目標	1年目の進捗
重点戦略 ～成長分野への積極投資	出店開発 3年間で国内100店舗	予定通りの出店を実施
	4℃ブランド価値向上 3年間で広告販促費約10億円 上積みし、総額約40億円投資	1.3億円の広告宣伝費を投入し TVCMを放映 クリスマス商戦の販促効果を実現
	M&A 自己資金の充実で100～200億 円レベルの案件への投資検討	引き続き検討
～組織力強化	取締役管掌制度の導入 人材育成の強化	店舗開発、海外生産で 連携が進む

# 第3次中期経営計画の達成度

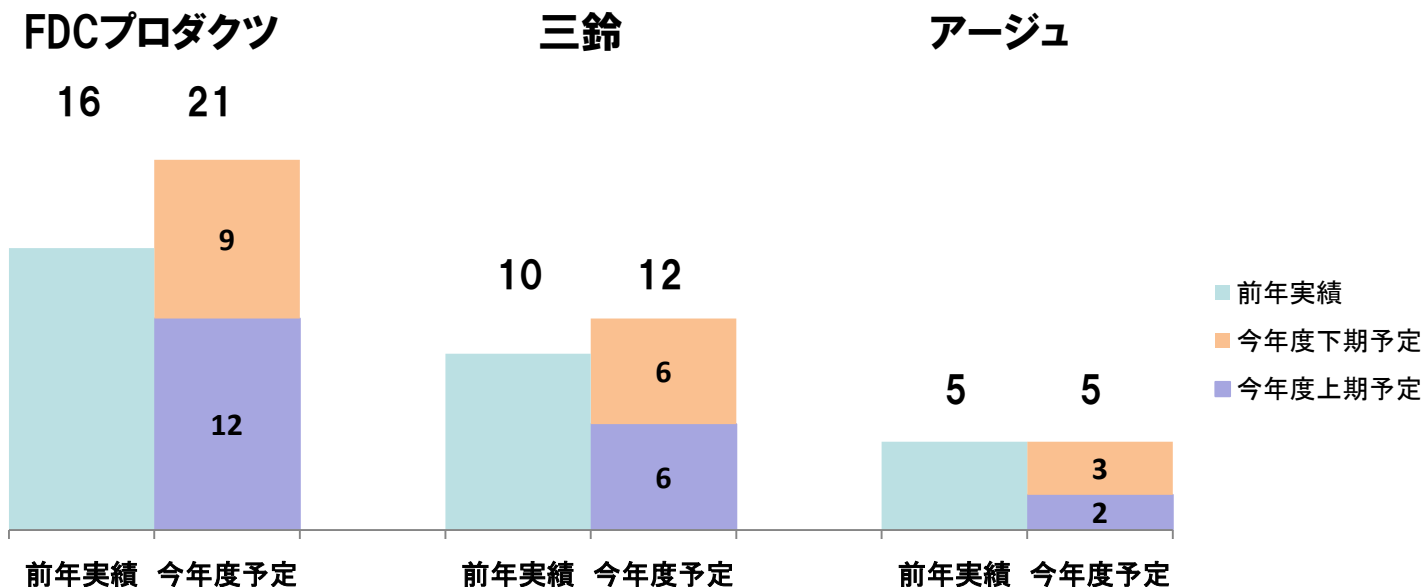
毎年利益ベースで10%成長を計画。順調に推移し、経常利益ベース、ROEとも2015年2月期の計画を1年前倒しで実現が確実に

## 中期業績目標の達成イメージ～経常利益とROE



# 重点戦略 成長分野への積極投資

- 3年間で国内100店舗出店目標⇒計画に変更なく、年間12億～13億円を出店投資
- 4°Cブランド価値向上のための広告投資⇒拡大、3年で10億円



(単位:店)	2013年2月期 年間出店数(実績)	上期予定	下期予定	2014年2月期 年間出店数(予定)
FDCプロダクツ	16	12	9	21
三鈴	10	6	6	12
アージュ	5	2	3	5

# 第3次中期経営計画の先を見据えた5年後の立ち位置

成長エンジンの6本柱プラス4本柱による成長企業に  
2018年2月期は売上高600億円、経常利益75億円達成をめざす

## 成長エンジン6本柱

4°Cジュエリー

4°CBRIDAL

canal4°C

アパレルメーカー事業

アパレルSPA事業

デイリーファッション事業

## さらに4本柱を追加

海外事業

EC事業

MAISON JEWELL

+

+

新ブランド「deux et deux」

- ◆ 2013年9月1日より、コーポレートブランドの向上を  
目的に社名変更



*YONDOSHI HOLDINGS, INC.*

株式会社 ヨンドシー ホールディングス

## ◆ 新社長の紹介

氏名	鈴木 秀典(すずき ひでのり)
生年月日	昭和30年6月16日
出身地	広島県
学歴	昭和54年3月 立命館大学法学部卒業
略歴	昭和54年4月 当社入社
	平成9年5月 (株)エフ・ディ・シー・プロダクツ取締役
	平成18年3月 フラッグス(株)代表取締役社長
	平成20年3月 (株)エフ・ディ・シー・プロダクツ常務取締役
	平成21年3月 当社営業部長
	(株)アスティ取締役
	(株)エフ・ディ・シー・フレンズ代表取締役社長
	平成21年5月 当社取締役
	平成23年3月 当社常務取締役
	(株)エフ・ディ・シー・プロダクツ専務取締役
	(株)三鈴取締役
	平成25年3月 当社代表取締役社長(現)
	(株)エフ・ディ・シー・プロダクツ代表取締役社長(現)
	(株)三鈴代表取締役会長(現)

# 本日は誠にありがとうございました

本資料ならびにIRに関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

株式会社F&Aアクアホールディングス

業務部 禾本(ノギモト)

TEL 03-5719-3429

FAX 03-5719-4462

E-mail [ir@fa-aqua.co.jp](mailto:ir@fa-aqua.co.jp)

※将来に亘る部分につきましては、予想に基づくものであり、確約や保証を与えるものではありません。  
予想と異なる結果となる可能性があることをご認識の上ご活用下さい。